

2011年度第1四半期  
決算説明資料

2011年8月2日  
旭化成株式会社

## 1. 2011年度第1四半期実績

主要決算数値 P4

連結損益計算書 P5

連結貸借対照表 P6

連結キャッシュ・フロー計算書 P7

セグメント別売上高・営業利益 P8～10

## 2. 2011年度上期予想

2011年度上期の業績予想 P12

セグメント別売上高 P13

セグメント別営業利益 P14

## 3. 参考資料

特別損益 P16

セグメント別業績推移 P17～18

連結包括利益計算書 P19

セグメント別概況 P20～28

# 1. 2011年度第1四半期実績

# 主要決算数値

(億円)

	10年度		11年度		1Q実績(対前年同期)	
	1Q	上期	1Q	上期 (予想)*	増減額	増減率
売上高	3,535	7,648	3,761	8,270	226	6.4 %
営業利益	228	635	302	505	74	32.4 %
経常利益	207	596	304	505	96	46.4 %
四半期純利益	93	285	194	285	101	109.3 %

\* 2011年5月時点の予想

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	49,600	46,150	59,000	60,000
為替レート (相場平均:¥/US\$)	92	89	82	80

	11/3月末	11/6月末	増減
総資産	14,259	14,117	-142
自己資本	6,636	6,815	179
有利子負債残高	2,539	2,378	-161
D/Eレシオ	0.38	0.34	-0.04

# 連結損益計算書

(上段:百分率、% 下段:金額、億円)

	10年度1Q	11年度1Q	増減	増減率(%)
売上高	100.0% 3,535	100.0% 3,761	226	6.4
売上原価	74.3% 2,625	73.5% 2,766	141	5.4
売上総利益	25.7% 910	26.5% 996	85	9.4
販管費	19.3% 682	18.4% 693	11	1.7
営業利益	6.5% 228	8.0% 302	74	32.4
営業外損益	-21	1	22	/
(内、金融収支)	(4)	(7)	(4)	
(内、持分法投資利益)	(4)	(7)	(3)	
(内、為替差損)	(-23)	(-12)	(11)	
経常利益	5.9% 207	8.1% 304	96	46.4
特別損失	-69	-18	51	/
税前利益	3.9% 138	7.6% 285	147	106.7
法人税等	-41	-89	-48	/
少数株主損益	-4	-3	1	
四半期純利益	2.6% 93	5.2% 194	101	109.3

# 連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	11/3月末	11/6月末	増減		11/3月末	11/6月末	増減
流動資産	7,557	7,431	-126	負債	7,503	7,182	-321
現金及び預金	1,403	1,156	-247	流動負債	4,899	4,620	-278
受取手形及び売掛金	2,734	2,575	-159	固定負債	2,604	2,562	-42
棚卸資産	2,562	2,867	304	純資産	6,756	6,935	179
その他	857	833	-24	株主資本	6,594	6,706	112
固定資産	6,702	6,686	-17	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,184	4,177	-6	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	311	301	-10	利益剰余金	4,787	4,899	112
投資その他の資産	2,208	2,208	0	自己株式	-21	-21	-0
				その他の包括利益累計額	42	109	67
				少数株主持分	120	120	-1
資産合計	14,259	14,117	-142	負債純資産合計	14,259	14,117	-142

# 連結キャッシュ・フロー計算書

AsahiKASEI

(億円)

	10年度1Q	11年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー①	18	129
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-162	-188
フリー・キャッシュフロー③(①+②)	-144	-59
財務活動によるキャッシュ・フロー④	59	-263
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	3	11
現金及び現金同等物の減少額⑥(③+④+⑤)	-82	-311
現金及び現金同等物の期首残高⑦	931	1,344
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	9	15
関係会社の報告期間変更に伴う増加額⑨	-	5
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧+⑨)	858	1,054

# セグメント別売上高・営業利益

(億円)

	売上高			営業利益		
	10年度1Q	11年度1Q	増減	10年度1Q	11年度1Q	増減
ケミカル	1,784	1,860	76	153	194	41
住宅	645	792	147	-9	36	46
医薬・医療	287	294	6	33	26	-8
繊維	265	277	13	12	14	2
エレクトロニクス	409	398	-11	52	48	-4
建材	110	101	-9	3	2	-1
その他	35	40	4	3	4	1
消去又は全社	-	-	-	-20	-22	-2
合計	3,535	3,761	226	228	302	74

# セグメント別売上高・営業利益増減要因(1) **AsahiKASEI**

(億円)

		10年度1Q	11年度1Q	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高	1,784	1,860	76	54	87	-50	-65	-
	営業利益	153	194	41	14			-	-59
住宅	売上高	645	792	147	102	6	-	39	-
	営業利益	-9	36	46	35			-	5
医薬・医療	売上高	287	294	6	25	-8	-2	-11	-
	営業利益	33	26	-8	21			-	-21
繊維	売上高	265	277	13	8	4	-6	0	-
	営業利益	12	14	2	0			-	-2

# セグメント別売上高・営業利益増減要因(2)

(億円)

		10年度1Q	11年度1Q	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
エレクトロニクス	売上高	409	398	-11	40	-52	-13	0	-
	営業利益	52	48	-4	34			-	14
建材	売上高	110	101	-9	-8	-2	-	0	-
	営業利益	3	2	-1	-1			-	2
その他	売上高	35	40	4	4	0	0	0	-
	営業利益	3	4	1	1			-	-0
消去又は全社	営業利益	-20	-22	-2	-	-	-	-	-2
合計	売上高	3,535	3,761	226	227	36	-71	-37	-
	営業利益	228	302	74	103			-	-65

## 2. 2011年度上期予想

# 2011年度上期の業績予想

(億円)

	10年度			11年度上期予想			増減 b-a	11年度上期 当初予想*	増減 b-c
	上期 a	下期	計	1Q	2Q 予想	b			
売上高	7,648	8,336	15,984	3,761	4,339	8,100	452	8,270	-170
営業利益	635	594	1,229	302	303	605	-30	505	100
経常利益	596	586	1,182	304	296	600	4	505	95
当期純利益	285	318	603	194	156	350	65	285	65

\* 2011年5月時点の予想

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	46,150	48,750	47,450	59,000	55,000	57,000	10,850	60,000	-3,000
為替レート (相場平均:¥/US\$)	89	82	86	82	80	81	-8	80	1

	10年度	11年度上期 (予定)
一株当たり配当金	11円	6円

# セグメント別売上高

(億円)

	10年度			11年度			増減 b-a	11/上 当初予想*	増減 b-c	(ご参考) 11/上 2Q-1Q 増減
	1Q	2Q	上 a	1Q	2Q 予想	上予想 b				
ケミカル	1,784	1,866	3,650	1,860	2,030	3,890	240	4,000	-110	170
住宅	645	1,090	1,735	792	1,128	1,920	185	1,920	-	336
医薬・医療	287	290	578	294	306	600	22	610	-10	13
繊維	265	281	546	277	273	550	4	550	-	-5
エレクトロニクス	409	422	832	398	412	810	-22	830	-20	14
建材	110	124	234	101	139	240	6	270	-30	39
その他	35	39	74	40	50	90	16	90	-	11
合 計	3,535	4,113	7,648	3,761	4,339	8,100	452	8,270	-170	578

\* 2011年5月時点の予想

# セグメント別営業利益

(億円)

	10年度			11年度			増減 b-a	11/上 当初予想*	増減 b-c	(ご参考) 11/上 2Q-1Q 増減
	1Q	2Q	上 a	1Q	2Q 予想	上予想 b				
ケミカル	153	220	373	194	156	350	-23	270	80	-38
住宅	-9	110	101	36	114	150	49	130	20	77
医薬・医療	33	8	42	26	19	45	3	45	-	-6
繊維	12	11	23	14	6	20	-3	15	5	-9
エレクトロニクス	52	55	107	48	27	75	-32	75	-	-21
建材	3	8	11	2	8	10	-1	15	-5	5
その他	3	5	8	4	6	10	2	10	-	2
消去又は全社	-20	-10	-30	-22	-33	-55	-25	-55	-	-10
合計	228	407	635	302	303	605	-30	505	100	0

\* 2011年5月時点の予想

## 3. 参考資料

# 特別損益

(億円)

	10年度1Q	11年度1Q	増減
特別利益	-	-	-
投資有価証券評価損	1	0	-1
固定資産処分損	11	5	-5
減損損失	0	0	0
環境対策費	6	-	-6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	-	-12
災害損失	-	6	6
事業構造改善費用	39*	6	-33
特別損失	69	18	-51
特別損益	-69	-18	51

\*アンモニア、ベンゼンの生産停止に伴う費用等。

# セグメント別売上高推移

(億円)

	09年度				10年度				11年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	1,329	1,603	1,590	1,698	1,784	1,866	1,899	1,874	1,860	2,030
住宅	585	992	960	1,360	645	1,090	905	1,452	792	1,128
医薬・医療	285	278	296	273	287	290	305	281	294	306
繊維	224	263	259	266	265	281	271	271	277	273
エレクトロニクス	315	370	374	368	409	422	384	367	398	412
建材	116	130	124	101	110	124	137	103	101	139
その他*	39	57	38	43	35	39	37	49	40	50
合計	2,893	3,693	3,641	4,109	3,535	4,113	3,939	4,396	3,761	4,339

\* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

# セグメント別営業損益推移

(億円)

	09年度				10年度				11年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	22	93	103	42	153	220	166	105	194	156
住宅	-30	71	67	145	-9	110	79	185	36	114
医薬・医療	31	3	29	-23	33	8	35	-6	26	19
繊維	-15	-14	-0	1	12	11	13	6	14	6
エレクトロニクス	-6	34	26	18	52	55	32	4	48	27
建材	-0	6	11	-5	3	8	13	-3	2	8
その他*	4	6	1	7	3	5	2	7	4	6
消去又は全社	-10	-17	-17	-9	-20	-10	-28	-14	-22	-33
合計	-3	183	220	177	228	407	310	284	302	303

\* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

# 連結包括利益計算書

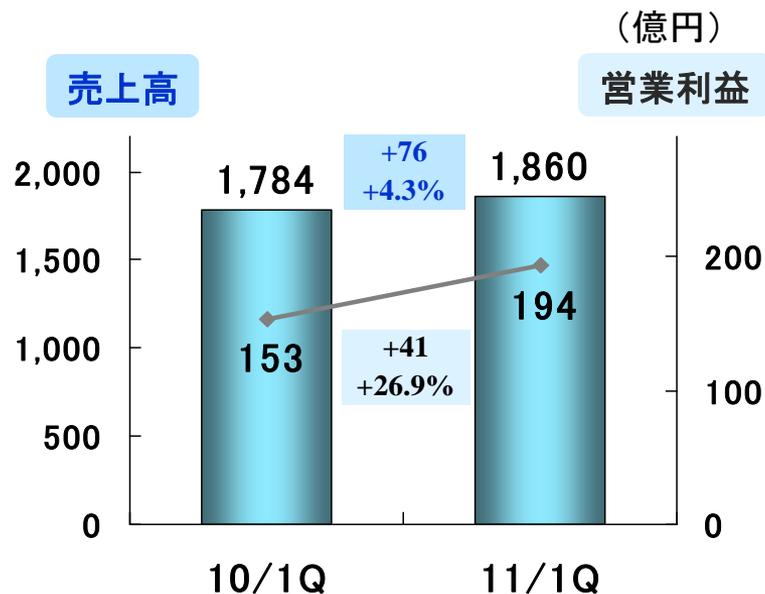
AsahiKASEI

(億円)

	10年度1Q	11年度1Q	増減
少数株主損益調整前四半期純利益①	97	197	100
その他有価証券評価差額金	-82	32	114
繰延ヘッジ損益	1	1	0
為替換算調整勘定	7	28	21
持分法適用会社に対する持分相当額	-2	6	9
その他の包括利益合計②	-76	67	143
四半期包括利益(①+②)	21	264	243

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	17	261	244
少数株主に係る四半期包括利益	4	3	-0



## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析



## <概況>

以下の状況により、前年同期比増収、増益となった。

### ・汎用系事業

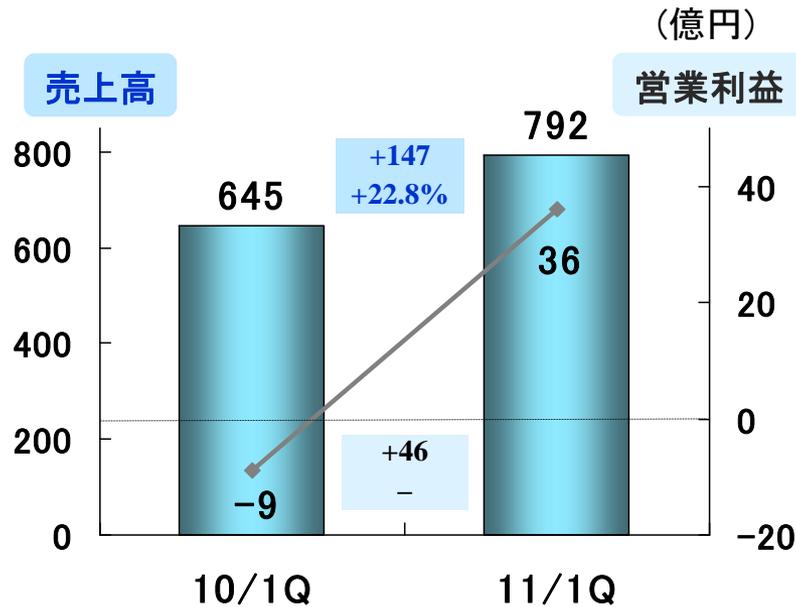
モノマー系事業は、好調なアジア需要によりアクリロニトリルなどの海外市況が高水準で推移した。また、ポリマー系事業は、震災の影響により国内自動車向けエンジニアリング樹脂の販売量が減少したが、旺盛なアジア需要に支えられたタイヤ向け合成ゴムが好調に推移した。

### ・高付加価値系事業

イオン交換膜の販売量が増加し、「サランラップ<sup>®</sup>」などの消費材や医薬向け添加剤も堅調に推移した。

## <トピックス>

- ・サウジアラビアにおけるアクリロニトリル事業化検討のため、サウジアラビア基礎産業公社(SABIC)、三菱商事(株)と合弁会社の設立を決定。(4月)



## 事業別増減分析

	10/1Q		11/1Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	408	/	510	/	102	/
分譲	46		81		36	
他	4		7		3	
小計	458	-22	599	23	140	45
住宅周辺	187	12	193	13	7	1
合計	645	-9	792	36	147	46

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出

## <概況>

- ・建築請負事業において、戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加した。また、分譲事業において、分譲マンションの引渡戸数が増加し、住宅周辺事業も堅調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、新商品の発売や政府の住宅取得促進施策の効果などにより、順調に受注を伸ばし、前年同期比5.9%の増となった。

## <トピックス>

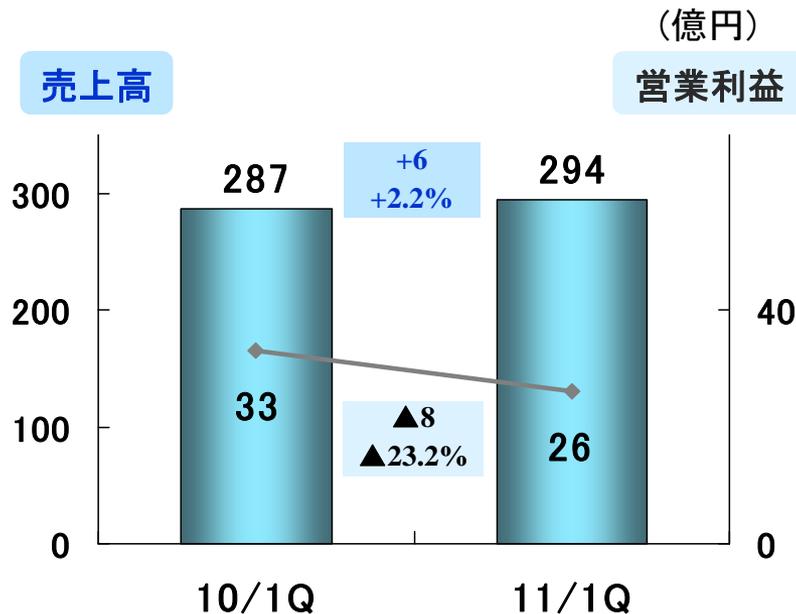
- ・2階リビングと一体となった半屋外空間「そのま」を提案する「ヘーベルハウス™ そのま+(プラス)」を発売。(4月)
- ・ペット共生型賃貸住宅「ヘーベルメゾン™ +わん+にゃん」を発売。(6月)

# 住宅／売上高、受注高の状況

(単位:億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	1,219 (▲10.4%)	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	1,945 (▲4.1%)	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	3,164 (▲6.6%)	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10	1Q	893 (16.9%)	408 (7.7%)	46 (78.1%)	4	458 (12.3%)	187 (5.6%)	645 (10.3%)	3,557
	2Q	924 (18.2%)	847 (8.6%)	48 (81.5%)	6	901 (11.2%)	189 (4.2%)	1,090 (9.9%)	3,634
	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	1,360 (11.6%)	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	1,965 (1.0%)	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	3,324 (5.1%)	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11	1Q	946 (5.9%)	510 (25.0%)	81 (77.9%)	7	599 (30.6%)	193 (3.5%)	792 (22.8%)	4,031
	2Q予	914 (▲1.1%)	875 (3.3%)	39 (▲19.3%)	3	916 (1.7%)	212 (12.2%)	1,128 (3.5%)	4,070
	上予	1,860 (2.3%)	1,385 (10.4%)	120 (28.2%)	10	1,515 (11.5%)	405 (7.9%)	1,920 (10.7%)	

\* 他: 損害保険販売手数料収入等



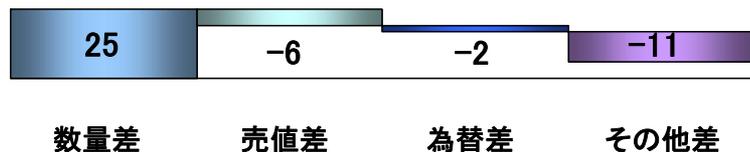
## <概況>

医薬事業は、血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」の販売量が順調に増加したものの、研究開発費などが増加した。また、医療事業は、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の販売量が大幅に増加したものの、各製品が円高の影響を受け、セグメント全体で前年同期比増収、減益となった。

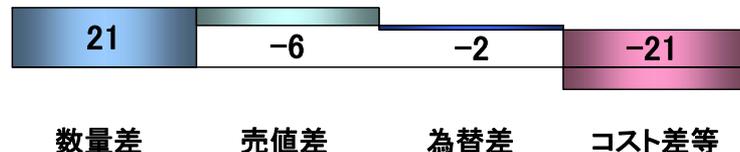
## <トピックス>

・排尿障害改善剤「フリバス™」の韓国における販売承認を、韓国の導出先である東亜製薬(株)が取得。(5月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



(億円)

		10年度		11年度
		1Q	上期	1Q
医薬系	医薬	135	269	143
	その他	19	36	8
	計	154	305	151
医療系*		134	273	143
医薬・医療 計		287	578	294

\* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計。

## 〈主要医薬品の国内売上高〉

(億円)

	10年度		11年度
	1Q	上期	1Q
フリバス™	35	68	35
エルシトニン™	34	69	32
ブレディニン™	17	33	16
リコモジュリン™	7	16	15
トレドミン™	9	19	8
エリル™	4	7	3

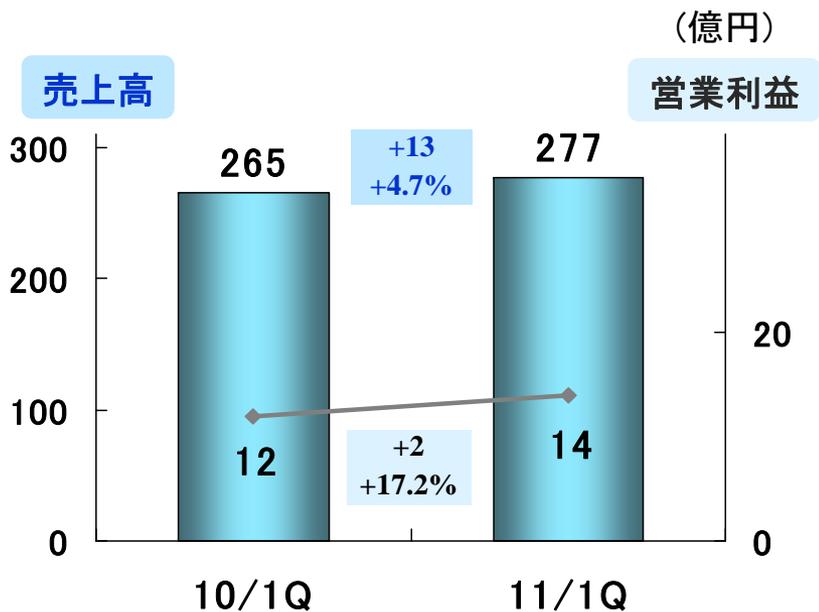
		開発コード・剤型 (一般名)	区分	薬効・分類	適応症	備考 (自社/導入)
国内	申請中の品目	MN-10-T注 (テリパラチド酢酸塩)	新成分新薬	副甲状腺ホルモン: PTH	骨粗鬆症	自社
	フェーズⅢの品目	AK-120錠 (ファムシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウイルス剤	単純疱疹	導入
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社
		AK150注 (ポリ硫酸ペントサンナトリウム)	新成分新薬	変形性関節症治療剤	変形性関節症	導入
海外	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	DICを伴う敗血症	自社
		AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社

## 探索・基礎研究

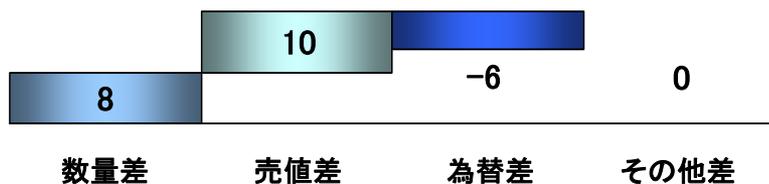
成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

## <概況>

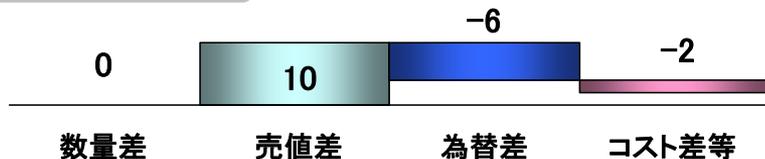
各製品が円高や原燃料価格高騰の影響を受けたものの、スパンボンドなどの不織布事業が販売量を伸ばし、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」、ナイロン66繊維「レオナ™」、ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」の販売も堅調に推移したことから、前年同期比増収、増益となった。



### 売上高増減分析

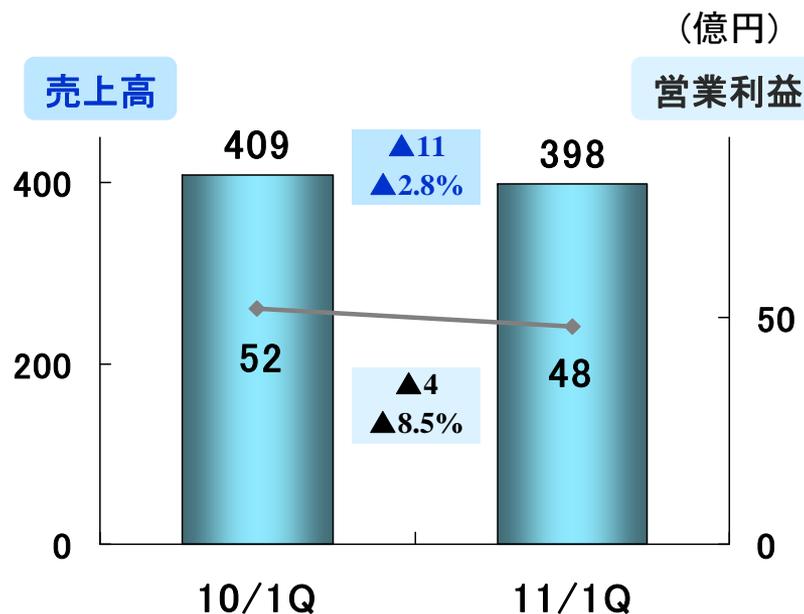


### 営業利益増減分析

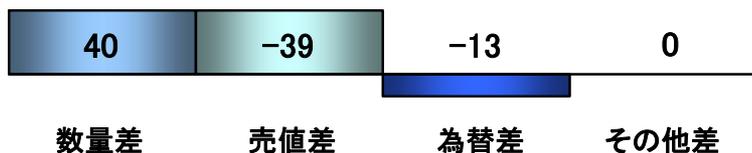


## <概況>

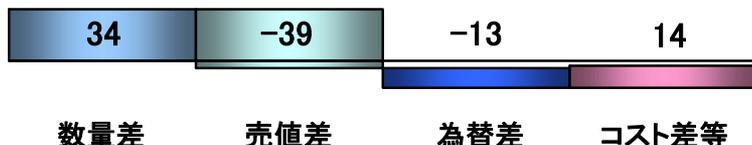
電子部品系事業は、スマートフォン向けミックスドシグナルLSIなどの販売量が順調に増加したものの、販売価格の下落や円高の影響を受けた。また、電子材料系事業は、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」の販売量が増加したものの、販売価格の下落や原燃料価格高騰の影響を受け、セグメント全体で前年同期比減収、減益となった。



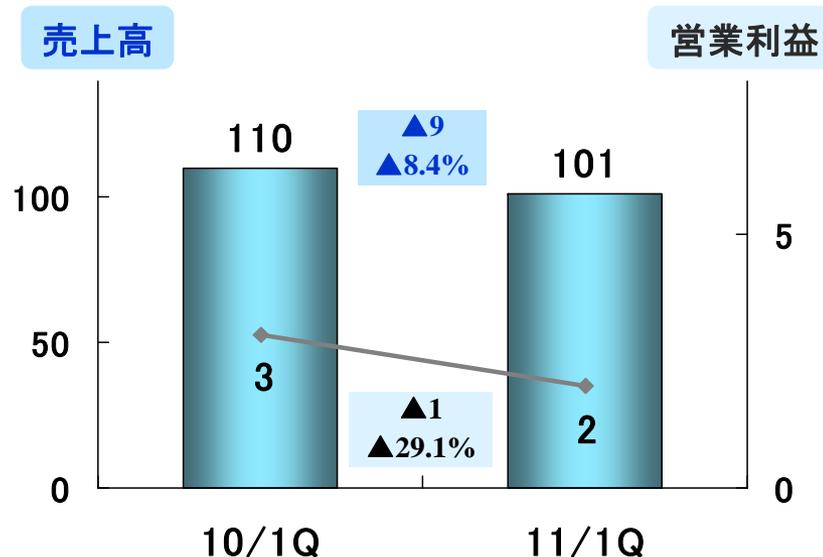
### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



(億円)



## <概況>

構造資材事業が堅調に推移したものの、震災の影響により、茨城県のフェノールフォーム断熱材「ネオマ<sup>TM</sup>フォーム」や軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル<sup>TM</sup>」の工場が一時操業停止となったことや、基礎事業をはじめ各事業が建築工事の中断・延期の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



## 業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。